

公募型プロポーザル方式 対象案件に関する質問・回答

工事名	平成29年度 片桐ダム地点発電所建設工事
掲示日	平成29年12月1日
回答者	長野県企業局 南信発電管理事務所

No.	質問	回答
1	最大出力を199kw未満として技術提案した場合の建設費はFIT期間中の売電収入も考慮して評価されるのでしょうか？ (質問受付:平成29年11月22日)	仕様書のⅡ1にも記載のとおり、県としては、最大出力及び発電電力量ともにより増大させた発電計画を採用したいと考えています。ただし、想定されている条件では建設が難しいと判断した場合は、その旨を記載の上、県の想定する規模と異なる規模にて技術提案をすることも可能としています。 建設費は、技術提案書の評価項目の「費用」で、また、売電収入(電力料収入)については、同評価項目の「投資効果に関する評価」として、建設費、維持管理費と共に、総合的に評価します。
2	投資効果に関する評価(25点)には、評価の視点として維持管理費(20年間)と記載されていますが、様式別紙1「ランニングコスト総括表」では、21年目から40年目までの維持管理費を記載するようになっていました。 21年目からの費用は評価の対象とならないのでしょうか？ (質問受付:平成29年11月22日)	21年目からの費用は評価の対象外です。ただし、40年間の維持管理費の推移について疑義がある場合は、別途ヒアリングを行うことがあります。
3	同期発電機を採用しない場合は対策工事の費用を明示すること、とありますが、この提案をした場合の建設費はどのように評価されるのでしょうか？ この費用を加算して評価するのでしょうか？ (質問受付:平成29年11月22日)	ご質問のとおりです。
4	資料-3 片桐ダム発電使用可能流量記載されている発電可能使用流量は、ダムの維持流量を含まない流量でしょうか？ (質問受付:平成29年11月22日)	資料-3の発電可能使用流量は、ダムの維持流量を含んでいます。
5	既設の低水放流設備の通水能力はいくつでしょうか？ (質問受付:平成29年11月22日)	最大放流量は、常時満水位(EL896.900)では2.418m ³ /s、最低水位(EL884.000)では1.230m ³ /sです。
6		